

1.化学物質等及び会社情報

製 品 名 : ニューハイネス-V
 一 般 用 途 : 食品機械用潤滑剤
 製 造 会 社 : 日本フイリン株式会社
 住 所 : 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-13第8東洋ビル4階
 T E L : 03-5643-6381
 F A X : 03-5643-6382
 緊急連絡先 : 日本フイリン株式会社 営業部
 T E L : 03-5643-6381
 F A X : 03-5643-6382

2.危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
火薬類	分類対象外	急性毒性(経口)	分類できない
可燃性/引火性ガス	分類対象外	急性毒性(経皮)	分類できない
可燃性/引火性エアゾール	区分1	急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
支燃性/酸化性ガス	分類対象外	急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
高圧ガス	分類対象外	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類対象外
引火性液体	区分外	皮膚腐食性/刺激性	分類されない
可燃性固体	分類対象外	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	分類されない
自己反応性化学品	分類対象外	呼吸器感作性	分類されない
自然発火性液体	分類対象外	皮膚感作性	分類されない
自然発火性固体	分類対象外	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性化学品	分類対象外	発がん性	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外	生殖毒性	分類できない
酸化性液体	分類対象外	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
酸化性固体	分類対象外	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	吸引性呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	分類対象外		
環境に対する有害性			
水生環境急性有害性	分類できない		
水生環境慢性有害性	分類できない		

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
 注意書き

【予防策】 : 取扱い後は手等をよく洗うこと。

【対応】 : 眼に入った場合、水で15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】 : 換気の良い場所で保管すること。

【使用上の注意】 : 製品安全データシート(SDS)を参照してください。

3.組成、成分情報

化学名又は一般名	Wt%	CAS No.	官報公示整理番号
菜種白絞油	36	-	-
綿実油	28.8	-	-
ノルマルブタン	14.8	106-97-8	(2)-4
イソブタン		75-28-5	(2)-4
プロパン	13.2	74-98-6	(2)-3
ヤシ油〔高鎖脂肪酸トリグリセリド〕	7.2	123465-33-8	(2)-669

4.応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、必要に応じて医師の診断を仰ぐ。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
外観に変化が見られたり、違和感がある場合は医師の診断を仰ぐ。
- 眼に入った場合 : 最低15分間多量の水で洗浄する。コンタクトレンズをしている場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後直ちに医師の診断を仰ぐ。
- 飲み込んだ場合 : 水で口をよく洗わせる。嘔吐が起こった場合は、気管への吸入が起きないように身体を傾斜させる。保湿して速やかに医師の診断を仰ぐ。

5.火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末消火薬剤、炭酸ガス。大規模火災では、耐アルコール泡、水噴霧。
- 特定の危険有害性 : 火災時及び消火時に一酸化炭素や刺激性の蒸気が発生する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 眼、皮膚、着衣への接触を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 適正な政府の許可無く、環境中に放出されることは認められない。
- 回収方法 : 付近の着火源を速やかに取り除く。河川、側溝などに入り込まないように注意し、飛散したものはかき集めて容器に回収する。回収後の残りは吸収剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
- 追加情報 : 「取扱い」に関する情報は7項を参照。「保護具」に関する情報は8項を参照。
「廃棄」に関する情報は13項を参照。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

- ① 目、粘膜、皮膚、着衣への接触を避ける。必要に応じ防護具を着用する。
- ② 室内で取り扱う場合は蒸気の発散源を密閉する設備、又は局所排気装置を設ける。
- ③ 取扱い後、手洗い洗顔等を十分に行い、又衣服に付着した場合は着替える。
- ④ 漏れ、飛散を防ぎ、蒸気を発散させない。
- ⑤ 作業中は飲食・喫煙はしない。

容器

- ① 容器は破損、腐食、割れなどのないものを使用する。
- ② 容器はみだりに転倒させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの乱暴な取扱いはしない。
- ③ 容器から出し入れする際はこぼれないようにする。

保管

- ① 容器は直射日光を避け、通風の良い冷暗所に保管する。
 - ② 保管場所は火気厳禁とする。
-

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 : 設定されていない

設備対策 : 室内での取扱の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭にしておく。

防護具 手の防護具……不浸透性ゴム手袋 眼の防護具……ゴーグル型眼鏡
皮膚及び身体の防護具……耐溶剤性で保護性のある作業着

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 液状(原液)
色調 : 黄色透明液体(原液)
臭気 : 油臭(原液)
pH : —
沸点 : 情報無し
融点 : 情報無し
引火点 : 217.5℃
燃焼又は爆発範囲 : 情報無し
蒸気圧 : 情報無し
蒸気密度 : 情報無し
比重 : 0.920(原液)
溶解度 : 情報無し
n-オクタノール/水分配係数 : 情報無し
自然発火温度 : 情報無し
分解温度 : 情報無し
その他のデータ : 情報無し

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱いでは安定
危険有害反応可能性	: 通常の取扱いでは安定
避けるべき条件	: 火気厳禁
避けるべき物質	: 過酸化物、可燃物
危険な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化ケイ素が生成される。

11.有害性情報

製品としての有害性情報は『2. 危険有害性の要約』に記載。

急性毒性

経口毒性 : 情報なし

経皮毒性 : 情報なし

吸入(気体) : 情報なし

吸入(蒸気) : 情報なし

吸入(粉塵/ミスト) : 情報なし

皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし

眼に対する重篤な損傷性 : 情報なし

呼吸器感作性または皮膚感作性 : 情報なし

生殖細胞変異原性 : 情報なし

発がん性 : 情報なし

生殖毒性 : 情報なし

特定標的臓器毒性
(単回ばく露) : 情報なし

特定標的臓器毒性
(反復ばく露) : 情報なし

吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

12.環境影響情報

水生環境有害性(急性) : 情報なし

水生環境有害性(慢性) : 情報なし

13.廃棄上の注意

製品の廃棄

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び各自治体の条例などに従い適正に処理する。

汚染容器の廃棄

水で清浄にした後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び各自治体の条例などに従い適正に処理する。

14.輸送上の注意

国際規則

国連分類 : クラス2(エアゾール)

国連番号 : UN1950

航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

国内規則

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15.適応法令

高圧ガス取締法 : 高圧ガス保安法適用除外品

食品衛生法 : 無菌充填

消防法 : 危険物第4類動植物油類

計量法 : 同法に基づき本体に表示

景品表示法 : 同法に基づき本体に表示

16.その他(引用文献等)

引用文献

化学物質等安全データシート(MSDS)－第1部:内容及び項目の順序(JIS Z7250)

国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994

化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ【GHS対応改訂2版】

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ【改訂第2版】《GHS対応》

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。